

授業科目 臨床免疫学 II

【担当教員名】 川村 宏樹	対象学年	3	対象学科	臨床	
	開講時期	後期	必修選択	必修	
	単位数	2	時間数	30	
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○				
【概要・一般目標：GI0】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 疾患と免疫応答の関連を体系的に学習し、検査との関連について理解する。 2. 生体内免疫反応と臨床検査及び検査値の考え方を修得する。 3. 輸血検査に必要な血液型の遺伝など基本的な知識を習得し、輸血検査の意義を理解する。 					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 感染症、免疫疾患、アレルギーなどの免疫応答と検査について説明できる。 2. 腫瘍免疫、移植免疫について解釈できる。 3. 血液型の遺伝や免疫について説明できる。 4. 輸血における検査の意義と重要性を説明できる。 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	感染症の免疫応答と検査結果の評価（1）			1	講義
2	感染症の免疫応答と検査結果の評価（2）			1	講義
3	自己免疫疾患と検査結果の評価（1）			1	講義
4	自己免疫疾患と検査結果の評価（2）			1	講義
5	免疫不全症と検査結果の評価			1	講義
6	アレルギー疾患の機序と分類			1	講義
7	アレルギー疾患と検査結果			1	講義
8	移植免疫			2	講義
9	腫瘍免疫			2	講義
10	輸血・輸液の概要			3,4	講義
11	ABO 式血液型の基礎と検査法			3,4	講義
12	Rh 式血液型の基礎と検査法			3,4	講義
13	その他の血液型の基礎			3,4	講義
14	輸血検査と結果の評価（1）			4	講義
15	輸血検査と結果の評価（2）			4	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		臨床検査学講座 免疫検査学第2版	窪田 哲朗 他	医歯薬出版	2013・5,600円＋税
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 小テスト(30%)、定期試験(70%)		【履修上の留意点】 疾患について学習するためには、基礎的な知識を理解しておくことが前提となるため、本講義前に臨床免疫学Ⅰの内容を復習し理解しておくこと。また、臨床技術者にとって重要な臨床科目であるため、本講義内容を復習し不明な点は質問するなど早期に解決すること。			